

# 決算の 審査から

平成22年(2010年)度の決算は、一般会計の単年度収支が7217万円の赤字、9特別会計の単年度収支の総計が2億1635万円の赤字です。

市議会では、閉会中に決算審査特別委員会を審査し、12月定例会初日に認定しました(一般会計は賛成多数で認定)。

審査の一部をお伝えします。

なお、委員会の会議録は市役所の情報公開課をはじめ、図書館に備えており、市議会のホームページでもご覧になれます。

## 安心・安全の対策

市の取り組みを聞く  
(日本共産党 上垣 優子)

**問** 小・中学校や幼稚園、保育園施設の耐震化は、計画を前倒しして早期に取り組み必要がある。耐震診断の結果、耐震性が低いと診断された学校施設等への今後の対応を聞きたい。

**答** 学校教育部 大規模な地震により倒壊する危険性が高い学校施設等については、来年度中に耐震化を完了する計画で事業を進めている。



地域での防災訓練(新芦屋上)

結成されているが、高齢化が進んでいる地域や、震災時に津波への対策が必要な地域など、地域の特性に合った防災計画を提案していくべきではないか。

**答** 政策推進部 各地域で開催する防災講座で、自分たちのまちは自分たちで守るという思いで自主防災活動に励んでもらうよう伝えるとともに、地域の課題を市民とともに考え、その地域に合った防災計画が立てられる仕組みを作っていきたい。

## 市民サービスの充実

副市長の見解は  
(民主市民連合 和田 学)

**問** 市民サービスを提供するためのシステムづくりや、市民の安心、安全を守ることが行政の重要な責務である。市民が行政に求めるものや、施策の充実、発展のための方策について、副市長の見解を聞きたい。

**答** 副市長 市民が安定した暮らしを送るため、災害に対する危機管理や長引く不況への対応が求められている。そのため、災害時に事業を継続して供給するための計画(BCP)を中心とした事務

## 催しや外郭団体への補助 見直しを実施せよ

(公明党 井上真佐美)

**問** 財政状況が厳しい中、催しや外郭団体に対する補助金や委託料の見直しは喫緊の課題である。吹田まつりも多額の補助金と多くの職員の動員により行っているが、見直すべきではないか。

**答** 副市長 吹田まつりについては、厳しい財政状況を踏まえ、そのあり方や運営方法、費

## 保育士の署名活動

市の見解を問う  
(自由民主党藤の会 藤木 栄亮)

**問** 公立保育園の保育士が、園の門前で政治的な署名活動などを公然と行っている。園児の保護者から見苦しい、不愉快だとの苦情が多数寄せられているが、担当の見解を聞きたい。

**答** 児童部 保育士は公務員としての認識を持って行動すべきであることを伝えており、各園長を通じて、保育士に指示を行



決算審査の様子

っていると考えている。

**問** 公務員は、公務外であっても市民に不快な思いをさせてはならないのではないかと聞きたい。

**答** 総務部 市民が職員の手動により不快と感じるのであれば、是正をすべきと考える。

**問** このことに対し、管理職が放置してきた責任は重大である。副市長の見解を聞きたい。

**答** 副市長 公務員としての倫理観が常に求められるため、市民が不快と感じることを行うのは望ましくないと考えている。

## 公務員制度改革

これまでの取り組みは  
(自由民主党橋本の会 橋本 浩)

**問** 公務員の給料や超過勤務手当、有給休暇や福利厚生制度などは、民間と比べて手厚く、権利が非常に守られている。また、国の給与構造改革に合わせ、平成21年(2009年)にあたかも権利のよりに地域手当を2%分引き上げるなど、権利に甘えている面がある。市はこれまで、公務員制度改革にどのよ

うに取り組んできたのか。

**答** 総務部 給料や手当の削減については、平成12年(2000年)度からの行財政改革の中で取り組んできたが、抜本的な公務員制度改革については今年度から取り組みを開始した。今後、職員自身が、市民がどのように感じているかを肝に銘じ、改革に伴う痛みを分かち合う必要がある。市民の税金で仕事をしていることを自覚するよう、意識改革を徹底していきたい。



公務員制度改革が進められる

## 債権管理の方法

全庁的な管理体制を  
(吹田いきいき市民ネットワーク 中本美智子)

**問** 市が管理する税や国民健康保険料、使用料などの債権について、その分類や法的位置づけの確認、督促等の方法など、庁内で統一したマニュアルがなく、あいまいな点を含んだまま滞納整理が行われている。公平性の観点から、適正に債権管理を行い、徴収を徹底する必要がある。債権管理台帳の集中的管理や滞納整理手続きのマニュアル化、債権管理条例の制定などを検討すべきではないか。

**答** 副市長 これまで、指摘された方法について検討を行ったことはなく、法的な取り扱いが違っても、慣例に従って処理する場合もあった。まずは関係部局に各債権の種類ごとに分類、整理させ、法的に適正な滞納整理を行うとともに、福祉的要素を持った債権については配慮を行うなど、債権管理の方法について研究していきたい。

新を重点的に進めたい。

**問** 市民福祉のさらなる向上についてはどうか。

**答** 同 予算を効果的に運用するため、部長が現場責任者として権限と責任を持つことにより、効果的な市民サービスに転換し、最適化を図っていきたい。

## 学校施設の老朽化

整備の方向性を聞く  
(吹田新選会 足立 将一)

**問** 多くの学校施設では老朽化が進んでいる。耐用年数をどのように考えているのか。

**答** 学校教育部 鉄筋コンクリート造の学校施設の耐用年数

## 老朽化する市有施設等 将来負担の軽減を図れ

(公明党 吉瀬 武司)

**問** 本市の財政は、数字上は大きな問題はないように見えるが、市有建築物や道路、橋りょう、下水道施設などの老朽化による更新のための費用などは顕在化しておらず、今後、これらの問題が市の財政を大きく圧迫することは避けられない。

**答** 市長 すべての外郭団体について、現在、市で精査を行い、そのあり方について検討を進めている。結論を出すまでもう少し時間を頂きたい。



下水道管の更新工事(藤白台)

て、市はどう取り組むのか。

**答** 副市長 都市経営の視点で政策を進めるため、インフラ設備も含めた資産管理や政策の立案・推進、財政等を一体化した部局を創設し、顕在化していない将来に対する負債を抑制し、堅実な経営を行っていききたい。今後、さまざまな市の計画により運動性を持たせることで、財政と市民福祉の安定を図ることを基本としながら、市有施設等の機能更新などに取り組みたい。

## インターネット放映が始まります

議会では、本市のまちづくり、福祉や環境、教育など、市民の皆さんの生活に直結したさまざまな問題について、活発な議論を行っています。

平成24年3月定例会から、本会議の様子をインターネットで放映する予定です。

生中継のほか、録画でも放映する予定にしていますので、是非ご覧ください。

